

特集

未来型デジタル健康活躍社会の
到来と日本版看護診断

I 未来型デジタル健康活躍社会と看護診断の活用

江川隆子, 神谷千鶴／中木高夫／黒田裕子／佐藤正美

II 未来型デジタル健康活躍社会を支える看護学

箕浦洋子／松村恵子／伊木智子／黒江ゆり子

III 日本版看護診断とこれからの研究の方向性

——日本版看護診断の情報と実践・評価・研究

小平京子, 笠岡和子／任和子／澄川真珠子／奥津文子／

西田直子, 神谷千鶴／下舞紀美代／黒江ゆり子

特別記事

研究者を支え, 研究活動を促進する

——ナursing &ヘルスケア研究所の取り組み 福井千絵

連載

若手研究者による若手研究者のための

集まる つながる 広がる 若手研究者のバトン・43 真志田祐理子

編集協力者(五十音順)

阿曾洋子／井上智子／井部俊子／太田喜久子／岡谷恵子／片田範子／金井Pak雅子／
上泉和子／萱間真美／川口孝泰／河口てる子／グレッグ美鈴／黒田裕子／小松浩子／
坂下玲子／真田弘美／筒井真優美／水流聡子／西村ユミ／野嶋佐由美／早川和生／
舟島なをみ／正木治恵／村嶋幸代／森恵美／安酸史子／山田雅子／山本則子

●編集後記●

私が入社した頃はPCがまだ供与されておらず, 部署ごとにワープロをシェアしていました。
「データ」といえばフロッピーディスクに保存するもの, という程度の認識だったので, その後の
「データ」の劇的な進展やAIの到来など当時は想像できるはずもなく, 時代の変化とその
スピードにただただ驚愕です。本特集からもデータのもつ力とインパクトの大きさを実感し,
ナursingデータサイエンスの可能性と未来に期待が膨らみます。その確立に向けては, 改
めて「看護とは何か」を考えることにもつながりそうですね。それにしても, 現代にあっても
ます存在感を増し続ける「ナursingデータサイエンスの祖」ナイチンゲールのすごさ。もし
一瞬でも蘇ったら, いまをどう見て, 未来をどう描くのだろうと空想しました。時代が変わって
も, 『看護覚え書』はこれからも永遠のバイブルであり続けるのだと思います。 (小長谷)

看護研究 第58巻 第5号(通巻327号)

2025年10月15日発行

(年6回発行)

発行: 株式会社医学書院

代表者: 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部: 電話 (03) 3817-5650

社内案内: 電話 (03) 3817-5600

医学書院ホームページ:

<https://www.igaku-shoin.co.jp>

『看護研究』編集室:

電話 (03) 3817-5775

e-mail kanken@igaku-shoin.co.jp

担当: 小長谷・番匠

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2025, Printed in Japan

印刷: 株式会社双文社印刷

広告・別刷: 医学書院 販売・PR部:

電話 (03) 3817-5696

e-mail pr@igaku-shoin.co.jp

1部定価2,200円(本体2,000円+税10%)

2025年年間購読料

(送料弊社負担, 年6冊)

冊子版: 13,200円(本体12,000円+税10%)

電子版/個人: 11,880円

(本体10,800円+税10%)

電子+冊子版/個人: 16,500円

(本体15,000円+税10%)

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・
上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信
可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有
します。

本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン,
デジタルデータ化など)は, 「私的使用のための
複製」など著作権法上の限られた例外を除き
禁じられています。

大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて,
業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)
で上記の行為を行うことは, その使用範囲が
内部的であっても, 私的使用には該当せず,
違法です。また私的使用に該当する場合
であっても, 代行業者等の第三者に依頼して
上記の行為を行うことは違法となります。

ICOPY 出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き
禁じられています。複製される場合は,
そのつど事前に出版者著作権管理機構
(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089,
e-mail info@jcopy.or.jp) の許諾を
得てください。